

# KEYAK!

11月号

先日の保護者会、ご協力ありがとうございました。毎回ですが、全体会での皆様の聞く姿勢と話しやすくしてくれる雰囲気を楽しんでいます。あとは私が時間を守り効率的にお話できれば完璧なのはよくわかっております。

参観においても、私たちは年長だ！感を見せつけてくれる年長さん。おかあさんたちが来てくれるのがうれしい年中さん。おかあさんが帰る際にも軽く手を振って別られる年少さんたちの姿。どれも園での成長を感じるうれしいひとコマです。私は子どもたちを毎日見ているわけではありません。ときどきです。なので余計彼らの変化が感じられるのかもしれませんが。しかもときどきなので、子どもたちとのやりとりや出会ったその場面の出来事にいちいち深入りして考えるクセがついてしまっているようです。

保護者会の全体会後ホールから出てくると年長のクラスに呼び止められ、朝の会を見て行ってほしいと言われそのままクラスの中へ。リーダーのあいさつ、進行、それぞれの朝のあそびの報告～その中の何人かは「はやと先生が朝の会を見に来てくれたのがうれしかったです。」なんて。瞬時にそんな忖度！いや判断ができ、言いたいことをスッと変えられるなんて！この前イモをふかしてやったからなのか！～等考えるうち、そつなく朝の会は終了。話す側も聞く側も素敵と褒めました。

ここで言いたいのが、子どもたちだけで進めようと努める皆のその姿勢です。そこには子どもたち同士の共有と共感があり、一体感という雰囲気を作り上げています。その空間の中には彼らの今まで培ってきた「育ち」がいっぱい詰まっています。きっかけは何でもいい、自分自身でそこに向き合おうとする姿勢や意識。やれている自分たちがいる。もしかして、それが正解じゃないかもしれない。正解じゃないけど答えを見つけようとする子どもたち。私は、彼らを見てると、正解じゃないところに答えがあるような気がしてなりません。

ひとつ言えることは「できるかも！」と思えることが大事です。こどもかいへの取り組みも始まります。豊かな表現とは、感じることと表すことを繰り返すことで培われます。子どもたちなりの表現を通して、仲間同士が共有できる関係づくり、それを共感できる気持ちの育ち等が垣間見れたなら、きっとそれは大成功でしょう。

前にも言いましたが、取り組み中の人目を気にしない子どもたちの姿が100%だとすると、当日の彼らは60～80%くらいでしょうか。いいキンチョー感を持っている彼らに、お母さんお父さんの笑顔で残りを上積みしてあげましょう。

今月のねらい(育ってほしい姿や経験してほしいこと)はクラスだよりでお知らせします

3歳

- それぞれの思いを出し合いながら、友達と一緒にあそぶ
- ごっこ遊びを通して友達とイメージを共有したり、自分なりに表現を楽しんだりする
- 季節の変化に気づいたり、秋の自然物を使って遊ぶ楽しさを味わったりする

4歳

- 友達との遊びを楽しみながら、かかわりを広げていく
- クラス全体でまとまると楽しい遊びや活動を経験し、実感する
- したいことが実現できるように材料や場を選んだり、使い方を工夫したりする

5歳

- 互いにアイデア・イメージを出し合ってクラスで共有していく
- 内容や取り組みなど、クラス集団で意見を出し合って共通理解する
- 全体を見渡して、必要に応じて援助し合うことができる